

主要コンテナ航路の荷動き動向（速報値※）

（公財）日本海事センター・企画研究部

（公財）日本海事センター・企画研究部は、PIERS（Port of Import/Export Reporting Service）の統計データを基に、『日本・アジア / 米国間のコンテナ貨物の荷動き動向』を毎月発表しております。それに加えて、欧州航路、日中航路、アジア域内航路の荷動き動向も発表しております。

主要航路の荷動きのポイント

北米航路	<p>往航（2020年5月）1,218,090TEU（20.4%減）（2019年5月：1,529,858TEU）</p> <p>・《往復航ともに全ての地域において前年比の荷動き量が減少》</p> <p>復航（2020年3月）542,599TEU（17.1%減）（2019年3月：654,315TEU）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 北米往航（アジアから米国）は、前年比20.4%減で8か月連続のマイナス。2020年5月の中国（塩田）-ニューヨーク間の運賃は前年比11.4%増の2,540ドル/TEUで2か月振りのプラス。 ■ 北米復航（米国からアジア）は、前年比17.1%減で、4か月振りのマイナス。2020年5月のニューヨーク-中国（塩田）間の運賃は前年同の800ドル/TEU。
欧州航路	<p>往航（2020年4月）1,140,321TEU（19.8%減）（2019年4月：1,422,489TEU）</p> <p>・《往復航ともに全ての地域において前年比の荷動き量が減少》</p> <p>復航（2020年4月）640,449TEU（10.3%減）（2019年4月：713,661TEU）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 欧州往航（アジアから欧州）は前年比19.8%減で6か月連続のマイナス。2020年5月の中国（塩田）-英国（フェリックストウ）間の運賃は、前年比4.3%減の1,120ドル/TEUで7か月振りのマイナス。 ■ 欧州復航（欧州からアジア）は前年比10.3%減で2か月連続のマイナス。2020年5月の英国（フェリックストウ）-中国（塩田）間の運賃は、前年比45.6%増の1,310ドル/TEUで6か月連続のプラス。
日中航路	<p>往航（2020年4月）813,652トン（6.1%減）（2019年4月：866,937トン）</p> <p>復航（2020年4月）1,963,279トン（7.4%増）（2019年4月：1,828,647トン）</p> <p>・《2月の76.2万トン(47.4%減)から一転して上位品目を中心に増加》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日中往航（日本から中国）は、前年比6.1%減で14か月連続のマイナス。金額ベースでは前年比6.5%減の6,636億円で4か月連続のマイナス。2020年5月の横浜-上海間の運賃は前年比2.1%減の460ドル/TEUで21か月振りのマイナス。 ■ 日中復航（中国から日本）は、前年比7.4%増で7か月振りのプラス。金額ベースでは前年比12.9%増の1兆2,208億円で9か月振りのプラス。2020年5月の上海発-横浜向の運賃は前年比6.3%増の680ドル/TEUで3か月連続のプラス。
アジア域内航路	<p>（2020年4月）2,946,400TEU（14.1%減）（2019年4月：3,431,300TEU）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ CTS社による集計では、前年比14.1%減となる295万TEUで4か月連続のマイナス。2020年5月のアジア域内コンテナ運賃指数（US\$/FEU）は前年比3.4%増の852ドル/FEUで17か月連続のプラス。

注1：速報値ベースでの発表のため、後に修正が加わる場合がある。

注2：日中航路荷動き量は財務省「貿易統計」をもとにした（公財）日本海事センターによるトンベースでの推計。

注3：運賃指数はDrewry, *Container Freight Rate Insight*,に基づく

図 - 1 北米航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

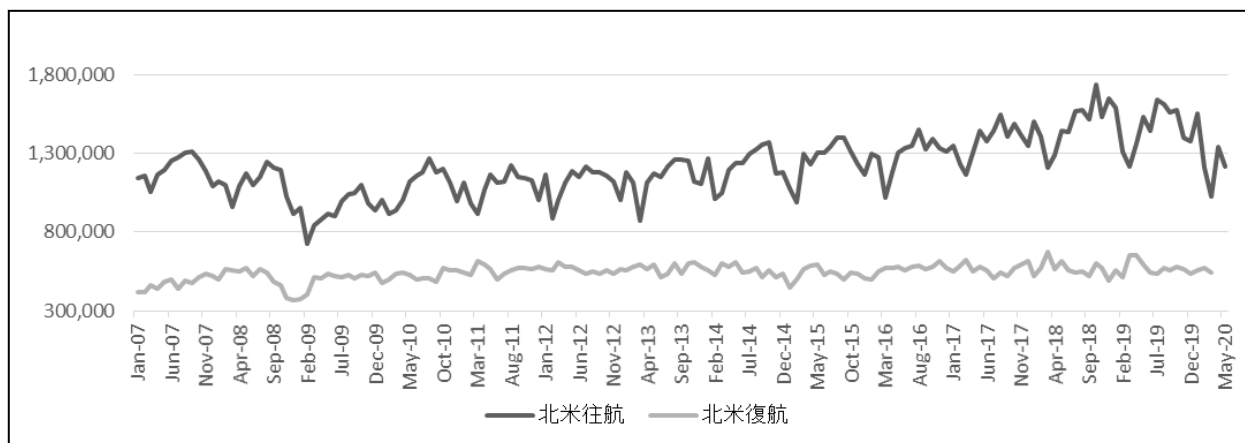


図 - 2 欧州航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

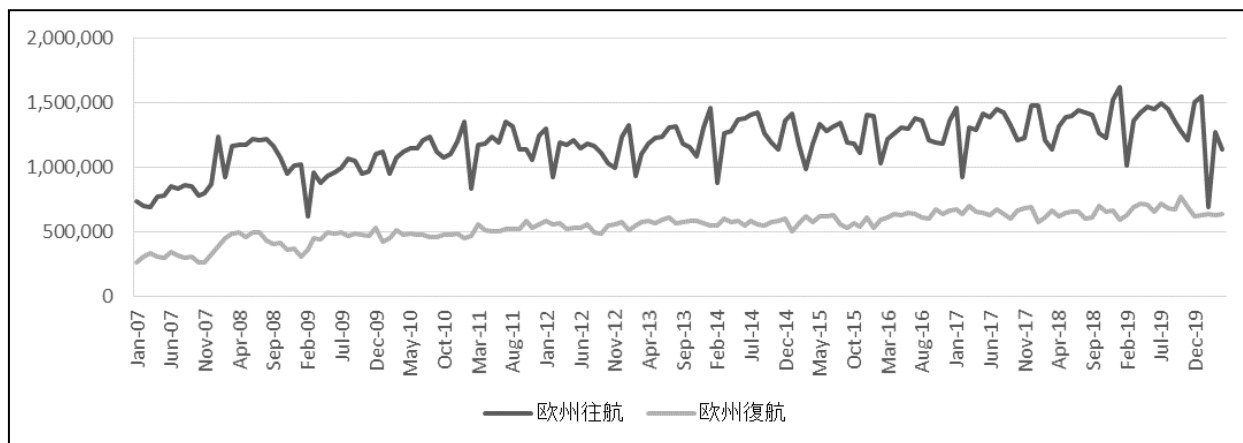


図 - 3 日中航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: トン)

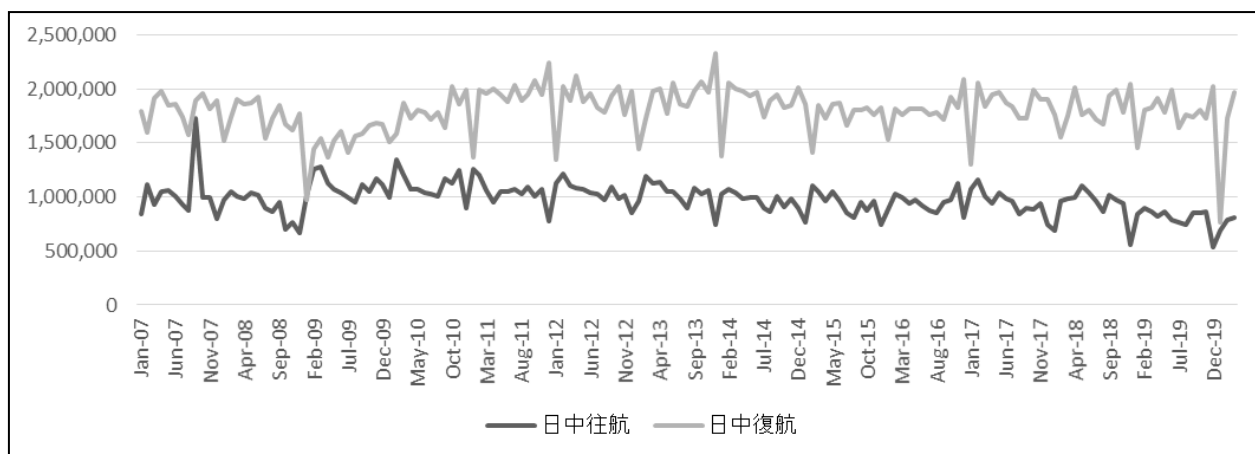


図 - 4 アジア域内航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位 : TEU)

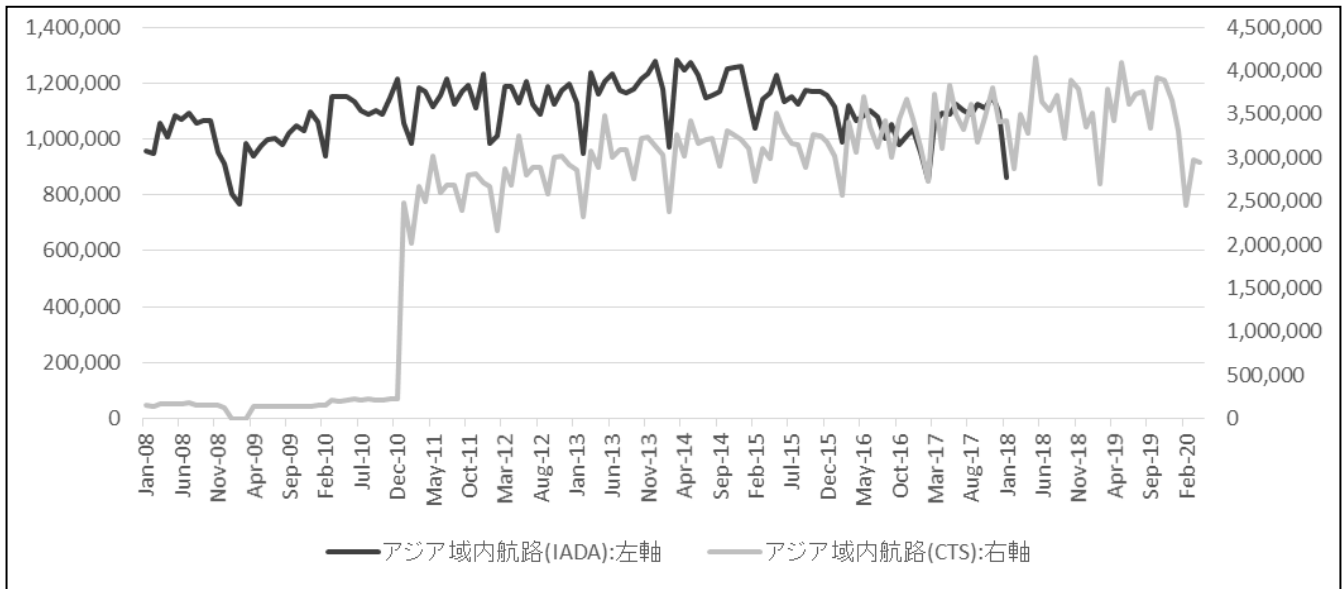


図 - 5 北米航路における運賃指数の推移 (単位 : ドル/TEU)

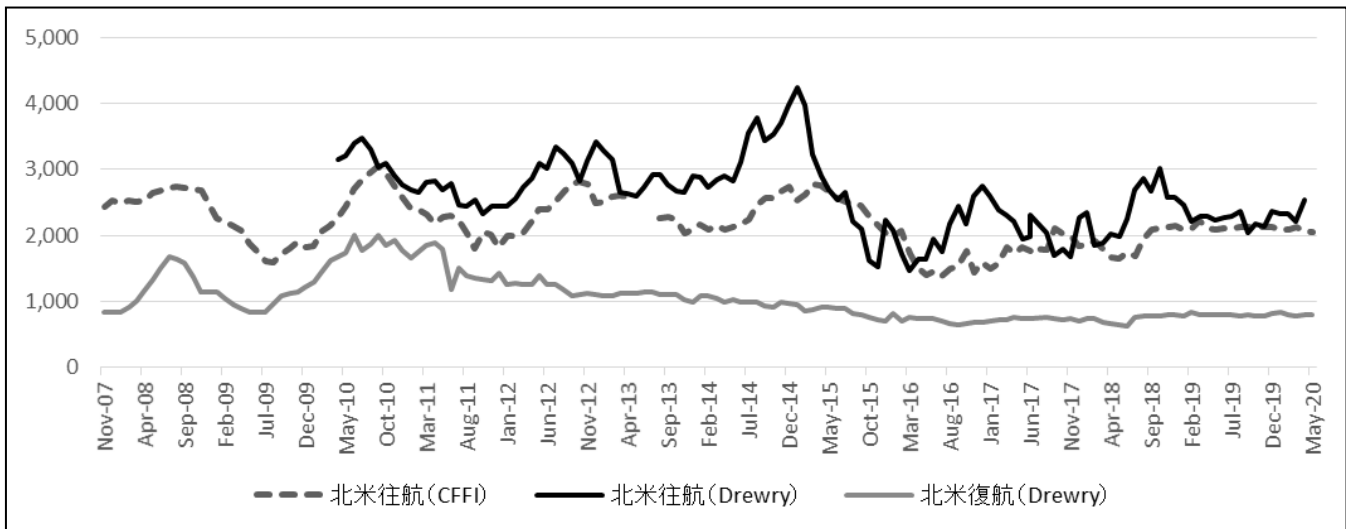


図 - 6 欧州航路における運賃指数の推移 (単位 : ドル/TEU)

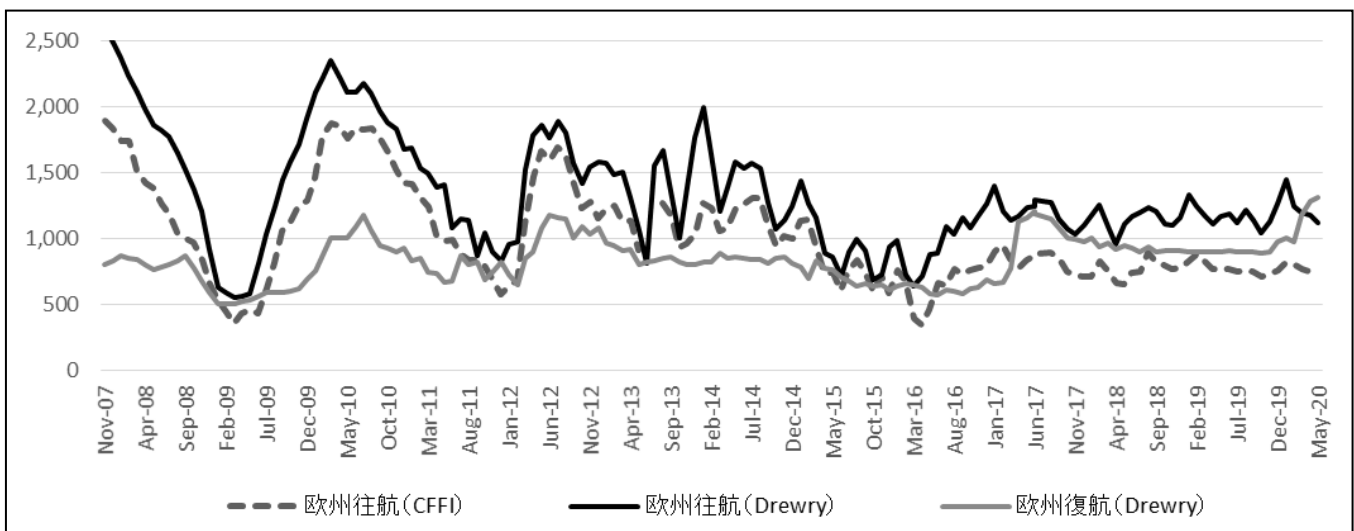
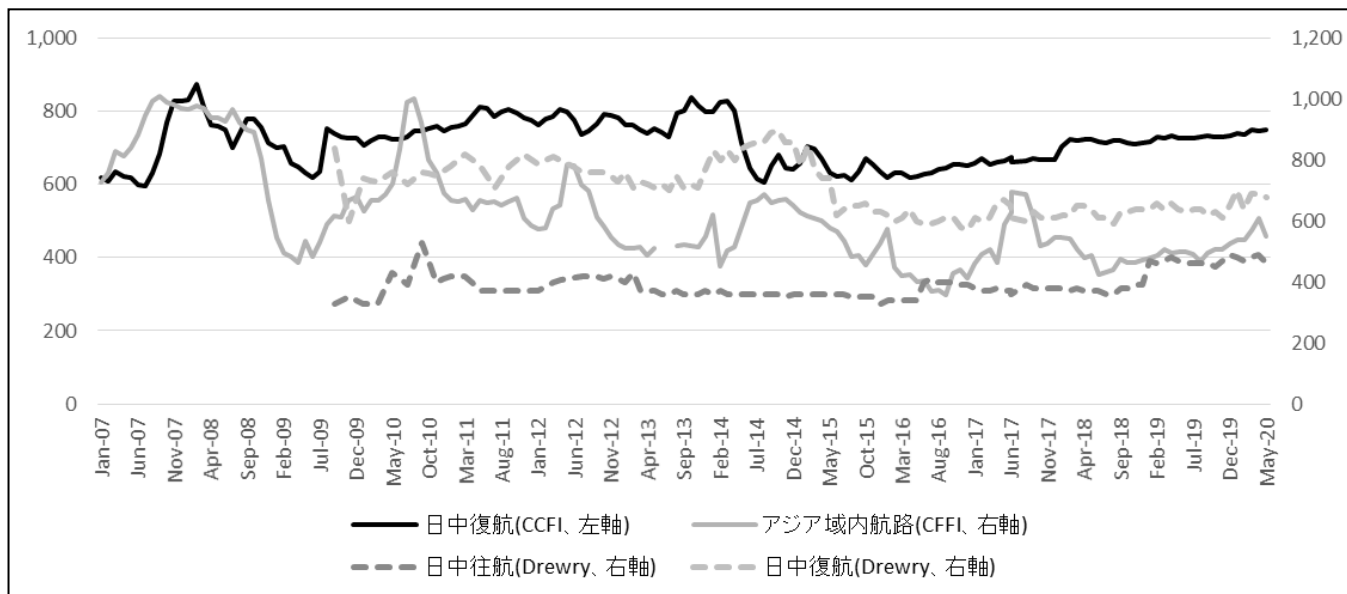


図 - 7 日中航路・アジア域内航路における運賃指数の推移 (単位 : 指数 (左軸)、ドル/TEU (右軸))



(参考) 輸送量・運賃データの出所

- 1.北米航路輸送量 : PIERS (Port Import/Export Reporting Service) データ
- 2.欧州航路輸送量 : Container Trade Statistics Ltd.
- 3.アジア域内航路輸送量 : IADA アジア域内配船主要船社取りまとめデータ、Container Trade Statistics Ltd. (CTS 社)
- 4.日中航路輸送量 (トンベース) : (公財) 日本海事センター企画研究部 (注意 : 財務省貿易統計に基づきトンベースで推計)
- 5.北米航路、欧州航路運賃指数 (往航では (CI,Drewry) と示した列、復航) : Drewry “Container Freight Rate Insight”:南中国 (塩田) と米国東岸 (ニューヨーク)、英国 (フェリックストウ) 間の運賃
- 6.北米航路、欧州航路運賃指数 ((CCFI) と示した列) : 中国国際海運網ウェブサイト <http://en.shippingchina.com/scfi/index/index.html>
- 7.アジア域内航路運賃指数 (毎月) : 中国国際海運網ウェブサイト (中国・東南アジア間航路の運賃指数) Drewry “Container Freight Rate Insight”:Intra-Asia Freight Rate Index(US\$/FEU)
- 8.日中航路運賃指数 :
 - ・ Clarkson Research “China Intelligence Monthly“ (上海航運交易所発表の中国輸出コンテナ運賃指数 ((CCFI) と示した列)) :
 - ・ **Drewry “Container Freight Rate Insight” (中国 (上海) と東京/横浜間の運賃) : 2014 年 4 月発表の資料より変更**
- 9.BDI (バルチック海運指数) :
 - ・ トランプデータサービス "World Maritime Analysis"
- 10.円ドルレート :
 - ・ FRB ウェブサイト <http://www.federalreserve.gov/econresdata/releases/statisticsdata.htm>